

今期と来期を通して回復傾向の業種はなく、厳しい状況が続く！

－ 2017年1月～3月期 中小企業景況調査報告書概要 －

日銀が4月3日に発表した3月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業で前回調査から2ポイント改善しプラス12となった。大企業・非製造業の業況判断指数は前回から2ポイント改善し、プラス20となっている。中小企業・製造業の業況判断指数はプラス5となり前回から4ポイント改善した。これで3四半期連続して改善となっている。中小企業・非製造業も前回から2ポイント改善してプラス4となっており、こちらも3四半期連続で改善している。大企業・製造業の業況判断D・Iは、世界経済の回復を背景に、自動車や汎用機械など輸出企業の景況感が改善した。大企業・非製造業は、対個人サービスや宿泊・飲食サービスがそれぞれ改善した。これは、円安でインバウンド消費が復調していることが影響している。

3か月後の先行きの見通し（本年6月予測）は、大企業・製造業がプラス11と今期より1ポイント悪化、大企業・非製造業はプラス16と今期より4ポイント悪化すると予測。中小企業においては、製造業が今期より5ポイント悪化し±0、非製造業も5ポイント悪化しマイナス1と予測しており、大企業よりも悪化幅が大きく厳しくなると見込んでいる。

内閣府が3月23日に発表した3月の月例経済報告においては、国内景気の基調判断を「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」として3ヶ月連続で据え置いている。個人消費や企業収益を上方修正

しているが、雇用や所得環境の改善に比べ、消費の回復が鈍いため、全体判断は据え置いている。

商工会地域の景況調査においては、今期（2017年1月～3月）の業況に関するD・I値は、製造業が前期より14.8ポイント悪化しマイナス43.8、建設業が7.9ポイント改善しマイナス18.2、小売業が10.9ポイント悪化しマイナス45.0、サービス業が12.0ポイント悪化しマイナス44.0となっている。今期は、製造業、小売業、サービス業がいずれも10ポイントを超える大幅な悪化で、しかもマイナス40を超えており、深刻な状況となっている。

来期（2017年4月～6月期）の業況予測については、製造業が今期に比べて26.6ポイント改善しマイナス17.2、建設業は今期の反動以上の34.5ポイントの大幅な悪化となりマイナス52.7、小売業は1.2ポイント悪化しマイナス46.2、サービス業は、1.1ポイント改善しマイナス42.9となっており、製造業以外は厳しき状況になると予測している。

商工会地域の景況感は、今期唯一改善した建設業が、来期予測では今期の改善幅を遙かに超える大幅な悪化を予測している。小売業とサービス業も今期、来期ともマイナス40台のままで回復傾向にはほど遠い。製造業も来期は回復すると予測されているが、今期の悪化が著しく、来期はどこまで回復するのか不安があり、全業種とも余談を許さない状況にあると思われる。

（中小企業診断士 橋本大輔）

業界天気動向図

項目 年 月 業種	売上				採算（経常利益）				資金繰り			
	4 H 5 28 6 年 月	7 5 9 月	10 5 12 月	1 H 5 29 3 年 月	4 H 5 28 6 年 月	7 5 9 月	10 5 12 月	1 H 5 29 3 年 月	4 H 5 28 6 年 月	7 5 9 月	10 5 12 月	1 H 5 29 3 年 月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加 好転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減少 悪化	大幅に減少 非常に悪化
	DI値(前年同期比)	20.1～		5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点需要の停滞

（数値の左は前期構成比、右は当期割合を%で記す）

製造業		1位		2位		3位		4位	
1位にあげる問題点	需要の停滞		生産設備の不足・老朽化、熟練技術者の確保難		製品（加工）単価の低下、上昇難		製品ニーズの変化、人件費の増加等		
前期	今期	22.2	30.0	—	13.3	14.8	10.0	—	6.7
建設業		1位		2位		3位		4位	
1位にあげる問題点	請負単価の低下、上昇難、官公需要の停滞、民間需要の停滞		取引条件の悪化、事業資金の借入難、従業員の確保難		—		—		
前期	今期	—	16.7	—	—	—	—	—	11.1
小売業		1位		2位		3位		4位	
1位にあげる問題点	大型店・中型店の進出による競争の激化		需要の停滞		購買力の他地域への流消費ニーズの変化		従業員の確保難		
前期	今期	20.5	22.5	20.5	20.5	—	12.5	7.7	7.5
サービス業		1位		2位		3位		4位	
1位にあげる問題点	利用者ニーズの変化		従業員の確保難		需要の停滞		店舗施設の狭隘・老朽化、熟練従業員の確保難、その他		
前期	今期	19.1	23.4	17.0	17.0	8.5	12.8	—	6.4